

# 交通権学会

2017年度 研究大会・総会  
プログラム

7月8日（土）  
立命館大学大阪いばらきキャンパス  
B棟1階 イベントホール

同封のはがきにて、出欠を6月30日までにお知らせください。

(10:00~12:00 理事会 イベントホール2)

12:30 開会 (受付は 12:00 より)  
開会挨拶 上岡直見 (会長)

## 自由論題報告

第1会場 (イベントホール1)

12:35 「ユニバーサルサービスにかんする制度設計が交通権を侵害する可能性」  
下村仁士 (NPO 交通まちづくり戦略会議)

13:10 「自動運転をめぐる現状—自動車産業と社会的影響の視点から—」  
村松祐二 (北海商科大学)

13:45 「公共交通復権のための一試論——全体知としての都市構造と部分知としての動力化された個人交通の拡大との連関」  
田村伊知朗 (北海道教育大学)

第2会場 (イベントホール2)

12:35 「特急「にちりん」ワンマン運転に潜む諸問題 ~宮崎からの問題提起~」  
兒玉 悠利 (宮崎大学学生)・前田 善弘 (NPO交通まちづくり戦略会議)

13:10 「三江線廃止に伴う、地方交通の在り方」  
加藤好啓 (一般社団法人 新地域創生機構)

14:30 **シンポジウム コミュニティ交通と交通権** (イベントホール1)

高齢社会を迎え、過疎地はもちろん、都市内にも交通困難地域は広がっています。こうした地域の住民の足を支える多様なコミュニティ交通が生まれています。また、鉄道の廃線をめぐっても、地域コミュニティと交通の関係が問われています。ここでは、コミュニティ交通をささえる存在の一つであるタクシーにも注意を向けながら、多様な取り組みの意義と課題を共有することをめざして議論します。

パネリスト 野村実 (立命館大学大学院社会学研究科)  
東和彦 (NPO 法人・気張る！ふるさと丹後町)  
風呂本武典 (広島商船高等専門学校)  
森長達也 (自交総連京都地連)  
問題提起 近藤宏一 (立命館大学経営学部)  
コーディネーター 西村弘 (関西大学社会安全学部)

17:00 **会員総会**

18:00 懇親会 (イベントホール3)

## 立命館大学大阪いばらきキャンパスへのアクセス



J R 茨木駅より徒歩 7 分、阪急南茨木駅より徒歩 10 分、大阪モノレール宇野辺駅より徒歩 8 分

関西国際空港より J R 茨木駅までリムジンバスあり 伊丹空港からはモノレール約 20 分

開場の B 棟は、公園に面した 1 階にスターバックスがある建物です。イベントホールはスターバックスの裏側の位置にあります。